FC8000 SERIES

CUTTING PRO

セットアップマニュアル

MANUAL NO.FC8000-UM-8M1

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にご使用いただくために、機能を十分にご理解いただきより効果的にご利用いただくために、ご使用の前にいつでも使用できるように大切に保管してください。

作業の前に

- ●付属の「安全に正しくお使いのために」を必ずお読みください。読まずに作業をすると、思わぬ事故を起こしたり火災の原因となることがあります。
- ●ご購入の際、「保証書」にお買い上げいただいた販売店の捺印・購入年月日が正しく記入されていることをお確かめの上、「保証書」を大切に保管してください。
- ●「保証書」に必要事項をご記入の上、FAXをお送りいただくか、弊社Webサイト「ユーザー登録」から、お客様登録をお願い致します。
- ●本説明書の内容の一部または全部を、無断で複写・複製することはできません。
- ●本製品の使用ならびに本説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ●本製品および本説明書の内容について、ご不審な点・誤り・記載もれ等お気づきの点がありましたら当社までご連絡ください。
- ●本製品の故障の有無にかかわらず、本製品のご使用に生じた直接ないし間接的な損害に対しては、当社は一切の責任を負いません。
- ●本製品により作成された製作物に対して生じた直接ないし間接的な損害に対しては、当社は一切の責任を負いません。

各マニュアルの役割

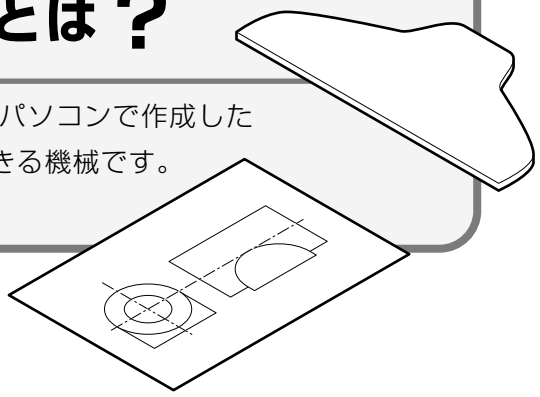
- ●セットアップマニュアル(本書)...カッティングプロッタとは？ FC8000「取扱説明書」の表示方法、本機とパソコンの接続方法、コントローラドライバソフトのインストール方法、作業の準備のためにお読みください。
- ●取扱説明書(PDFデータ).....FC8000機能をより理解するためにお読みください。
- ●Cutting Plotter コントローラ 取扱説明書(PDFデータ)
  .....お使いのパソコンからFC8000を操作するためのソフトウェア「Cutting Plotter コントローラ」を使用するためにお読みください。

※P.000 は取扱説明書の参照ページを表記しています。

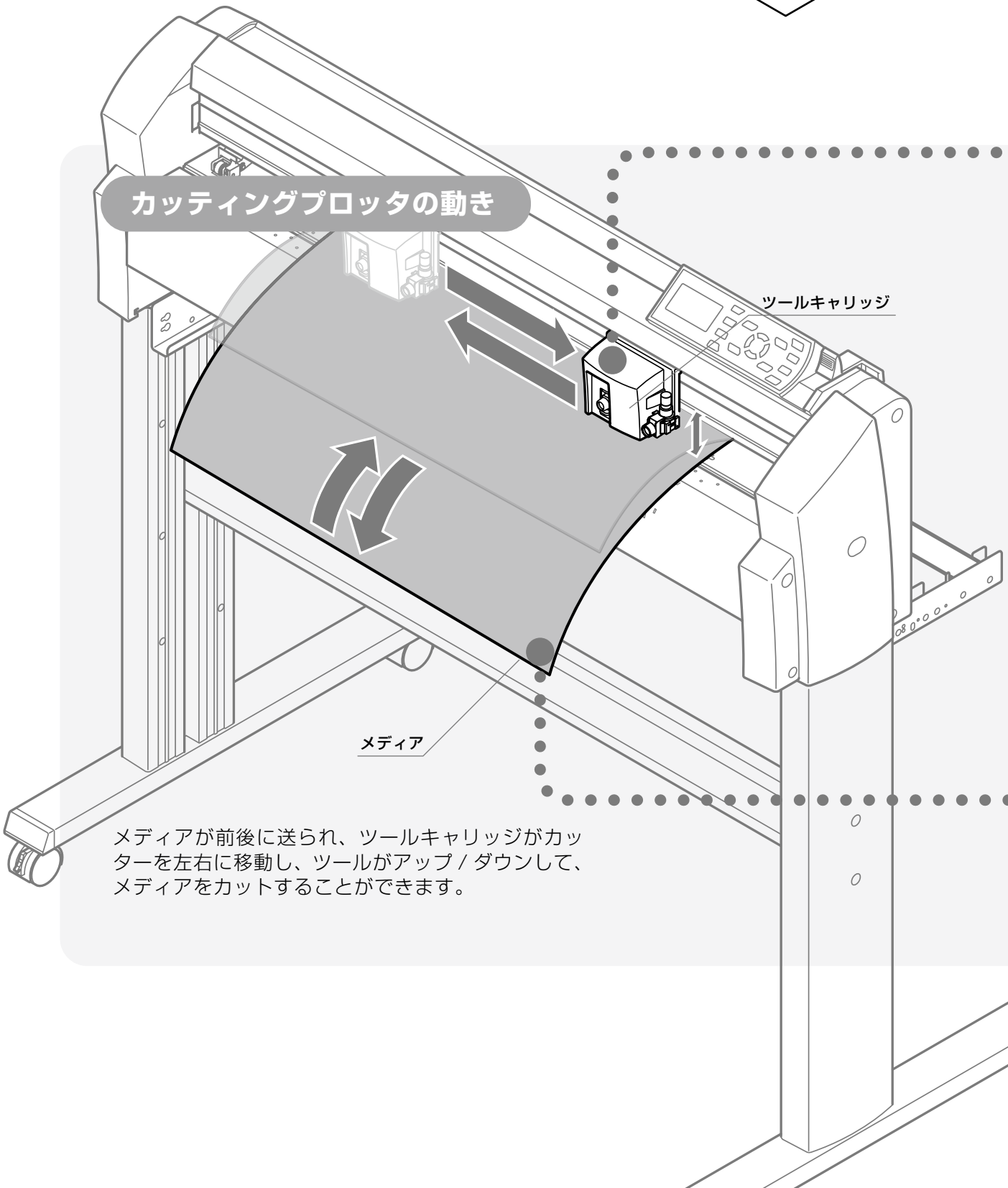
GRAPHTEC

カッティングプロッタとは？

カッティングプロッタとは、カッターナイフやハサミを使わずに、パソコンで作成した図形をメディア（紙、マーキングフィルムなど）から切ることができる機械です。



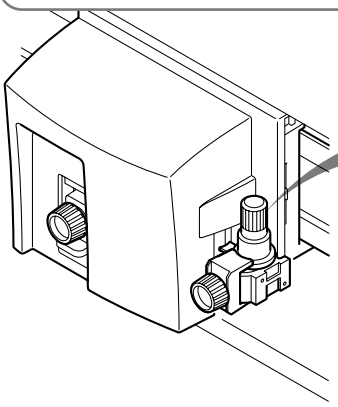
カッティングプロッタの動き

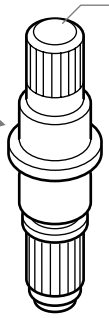


メディアが前後に送られ、ツールキャリッジがカッターを左右に移動し、ツールがアップ / ダウンして、メディアをカットすることができます。

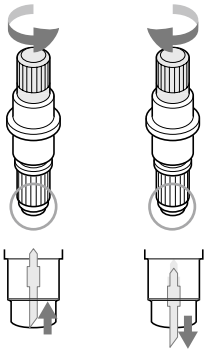
ツールキャリッジ

※カッター刃の取り扱いには、手などを切らないように充分にご注意ください。



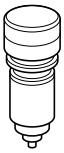


刃先長さ調整つまみを回すことで、刃の出具合を調整します。



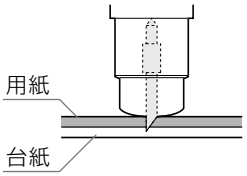
カッタープランジャ

ツールキャリッジには、カッタープランジャを取り付けて使用します。カッタープランジャにはカッター刃をセットします。



筆記ペン（水性ファイバペン）

カッターの代わりに筆記ペンを使うと、図面やイラストなどの出力ができます。
カット前のテストとして使用します。

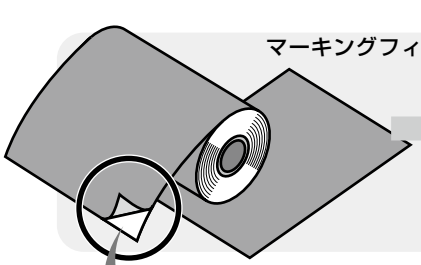


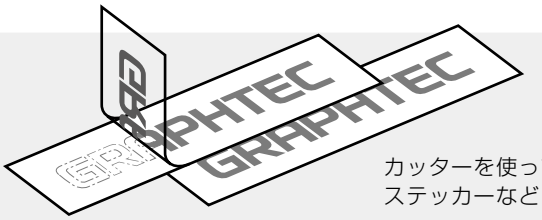
台紙に切り跡がつく程度の刃出し量に調整します。

メディア

メディアには、フィルムや紙などがあります。目的に合わせて使用してください。

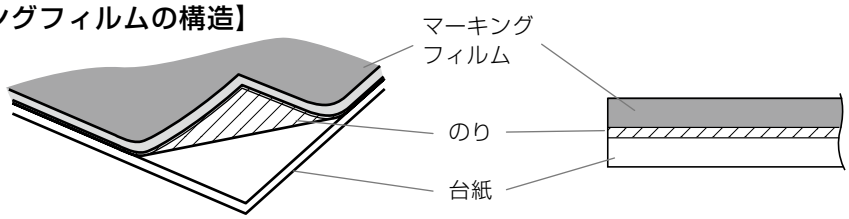
マーキングフィルム



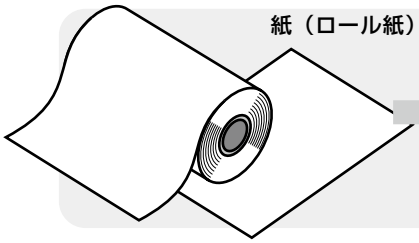


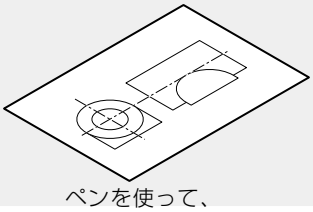
カッターを使って、ステッカーなど

【マーキングフィルムの構造】



紙（ロール紙）



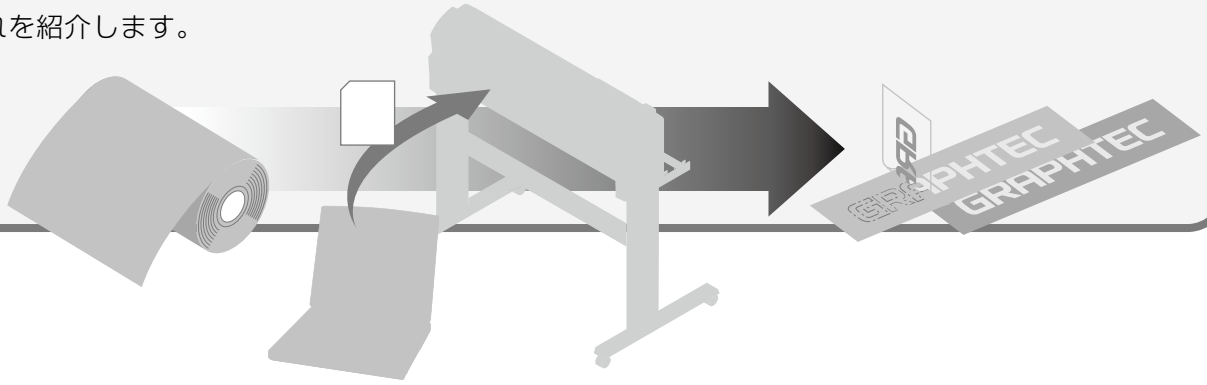


ペンを使って、図面やイラストなど

ミシン目にて切り抜いて、型紙など

カッティング作業のながれ

カッティングプロッタとマーキングフィルムを使って、ステッカーを作る工程を例に、カッティング操作の流れを紹介します。



❶ カットするデータを作成します。

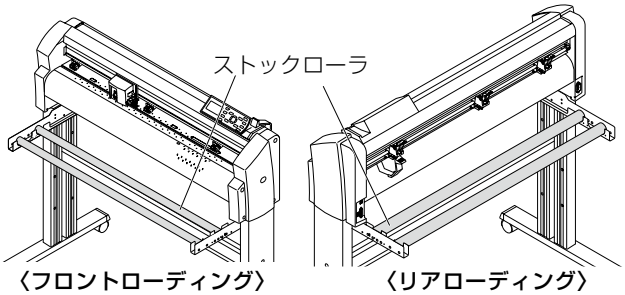
❶データを準備する　❷メディアをセットする　❸条件を設定する

❷ カッティングプロッタにメディアをセットします。

❶ カッティングプロッタのどこに用紙をセットするか確認します。

P.1-5

ストックローラが本体の前に取り付けられている：フロントローディング
ストックローラが本体の後ろに取り付けられている：リアローディング

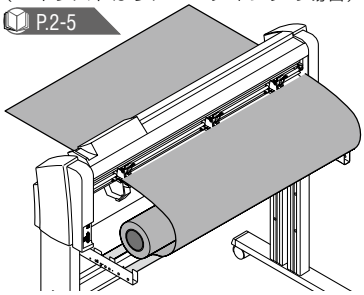


〈フロントローディング〉　〈リアローディング〉

❷ メディアをストックトレイに置き、メディアをセットします。

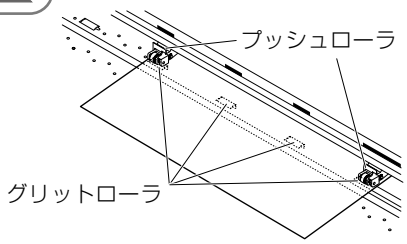
（※イラストはリアローディングの場合）

P.2-5



プッシュローラのセット P.2-12

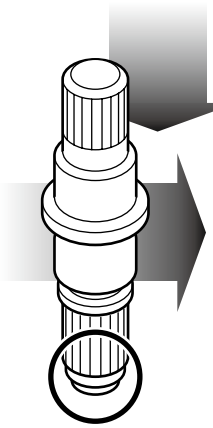
プッシュローラをメディアの両端かつグリットローラの上に位置するように固定します。



3 メディアをカットするために、必要なさまざまな設定を行います。

●使用するメディアなどにあわせて、ツール条件を設定します

※各種条件を設定したものを記憶させることができます。



ツール設定：
使用するツールのタイプを設定します
カット圧設定：
ツールをメディアに押し付ける力を調整します

速度：
ツールの移動速度を調整します
加速度：
ツールの加速度を調整します

刃出し調整：
カッターペンプランジャから、刃が出ている量を調整します
オフセット：
カッター刃の刃先とプランジャの中心との間を調整します

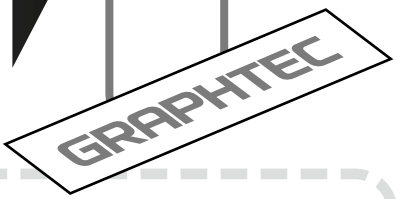
テストカット P.2-33

各種設定を行った後にテストカットを行い、実際の切れ具合を確認しましょう。

オフセットが小さい　適 正　オフセットが大きい

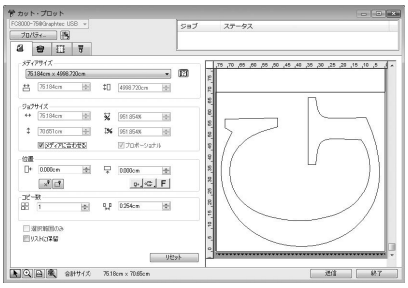
4 メディアをカットする

完成



4 作成したデータをカッティングプロッタに出力し、メディアをカットします。

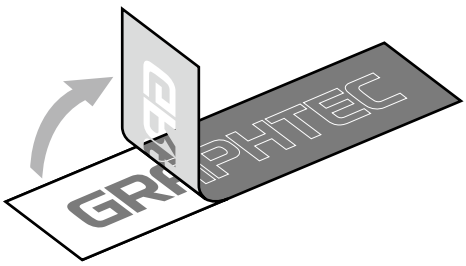
❶ プリンタに出力するように、カッティングプロッタに出力します

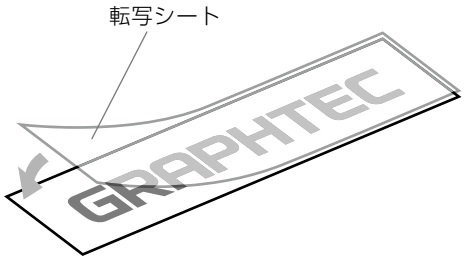


途中で停止するには
作図中に [STOP] キーを押すと、作図を一時停止します。 P.3-12

❷ カットしたメディアを切り離します（クロスカット）

❸ カットしたメディアの不要な部分を取り除き、転写シートを貼ります



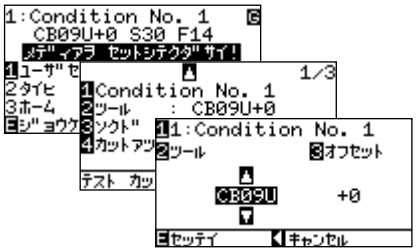


便利な機能

ツール条件設定

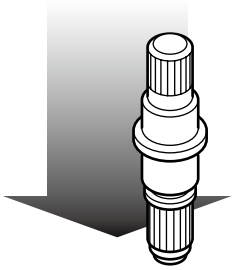
ツール条件の設定 P.2-25

ツール設定は、設定 1 ～ 8 の 8 つの設定を記憶することができます。ツール条件を設定する場合、まずこの条件 No. を選択します。また、この条件 No. を切り替えることにより、あらかじめ設定した 8 種類のツール条件ですぐに作画ができます。



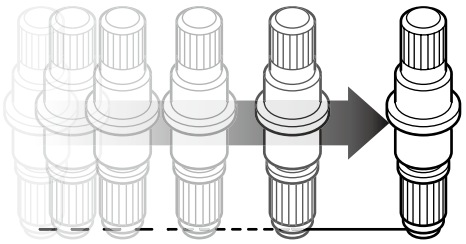
カット圧の設定 P.2-28

カット圧の設定は、カットするときのカット圧、または作図するときの筆圧の設定です。メディア別、ツール種別のツール条件を目安に設定してください。



速度の設定 P.2-27

作図するときのツールのスピードの設定（移動速度）です。



加速度の設定 P.2-29

加速度の設定は、作図するときの加速度の設定です。

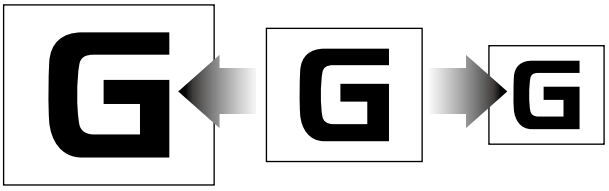
オフセットの設定 P.2-25

使用するカッター刃の種類によって刃先とプランジャの中心点のズレを補正します。刃の名称を選択する事により、あらかじめ標準値が設定されています。また、その標準値に対して± 5 の範囲で微調整が行えます。

エリアオプション

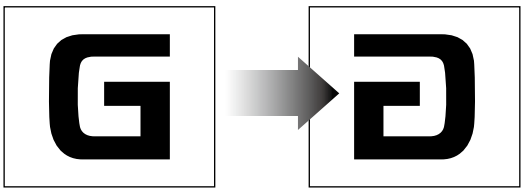
拡大・縮小 P.4-8

作図の拡大縮小を設定します。



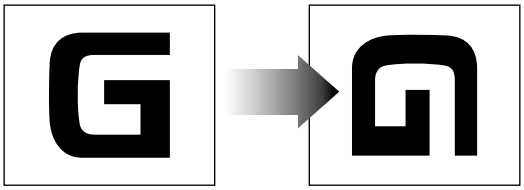
裏書 P.4-6

作図原点と座標軸の反転を設定します。



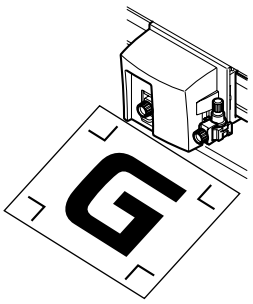
回転 P.3-10

作図原点と座標軸の回転を設定します。



ARMS P.5-2

メディアに描かれたトンボをセンサで読み取る機能です。軸の傾きと距離と 2 軸歪み補正も行え、プリンタで印刷された図形の輪郭のカットや、メディアを再カットする際に、高精度なカッティングができます。



作図範囲 P.4-2	作図範囲を任意に設定する。原点も作図範囲に合わせて移動します。設定された範囲外には作図できません。
作図範囲幅の拡張 P.4-4	初期値（プッシュローラの内側のエッジ）を基準に作図範囲の増減を設定する。
ミシン目パターンの設定 P.7-13	実線でカットするか破線（ミシン目）でカットするかを設定します。
手動位置合わせ補正 P.6-3	手動でメディアとツールの位置を合わせ、トンボ（合わせマーク）の位置を指示して、軸の傾きや距離を補正します。ARMS でトンボを読み取れない場合に、他のプロッタで作図された図形の輪郭のカットや、メディアの再カットの精度を向上できます。

環境設定

デュアルコンフィギュレーション P.4-12	2 種類の設定内容を独立して保存できます。操作者が二人いる場合に各人好みの設定を別々に保存したり、メディアに合わせた設定を 2 種類保存しておきメディア交換のときに条件設定をすばやく切り替えたい場合に、この機能を使用します。
アパレル（AP）モード P.4-14	アパレル向けの CAD と組み合わせて本機を使用する場合に使う機能です。

作図品質設定

距離補正 P.7-11	使用するメディアの種類や厚さによる作図の線分の長さのズレを補正します。
タンジェントコントロール P.7-2	厚いメディアをカットするときに設定します。刃がメディアに埋まってしまって刃の回転がうまくいかず、始点と終点が一致しない、コーナがシャープにでないような場合に、この機能を使用します。

セットアップを始める前に

セットアップを始める前に、つぎの準備をしてください。

◇ FC8000 を組立て、設置してください。組立の手順は架台同梱の説明書、または FC8000 取扱説明書(PDF)P.1-5 をご覧ください。
◇ Cutting Master 2 の旧バージョンがインストールされている場合は、アンインストールしてください。
◇ Cutting Master 2 を使用する場合は、お使いになるデザインアプリケーション（Adobe Illustrator または CorelDRAW）を、予めインストールしてください。
◇ ウイルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合は、あらかじめ終了しておいてください。
◇ インストールする際には管理者（Administrators グループのメンバーとして）ログオンする必要があります。

セットアップのながれ

1. インストーラの起動	FC8000 の各種ソフトウェアは、付属の CD-ROM に収納されているインストーラを使ってインストールします。	P.09

ソフトウェアのインストール

FC8000 セットアップ

2. Cutting Plotter コントローラのインストール	Cutting Plotter コントローラをインストールすると、FC8000 の主な機能をパソコンから操作できます。	P.09
3. FC8000 ドライバ（Cutting Plotter Driver）のインストール	FC8000 ドライバソフトは、パソコンで作成したデータに従ってプロッタを制御し、作図を行うドライバソフトです。	P.10

インタフェースによって手順が異なります。

選択			
選	USB で接続する場合	インストールの途中でプロッタの電源を入れ、USB ケーブルを接続する必要があります。	P.10
択	ネットワークケーブルで接続する場合	FC8000 の IP アドレスを入力する必要があります。	P.12
択	RS-232C で接続する場合	RS-232C ケーブルは、インストールの終了後に接続します。	P.13

※ネットワーク（LAN）インタフェースは、工場出荷時オプションです。後からの取り付けはできません。

必要に応じてソフトをインストールします。

4. Cutting Master 2 のインストール	Cutting Master 2 は、パソコンのアプリケーション（Adobe Illustrator、CorelDRAW）で作成した図を、直接プロッタに出力できます。	P.13
5. 取扱説明書のインストール	付属の CD-ROM に収納された取扱説明書を、パソコンにコピーします。CD-ROM の取扱説明書をそのまま読んだり、プリントアウトして読む場合は必要ありません。	P.14
6. Adobe Reader のインストール	付属の CD-ROM に収納された「取扱説明書」を読むために必要です。お使いのパソコンに既にインストールされている場合は、改めてインストールする必要はありません。	P.15

プロッタ本体のセットアップ

1. メディア（用紙）のセット	メディアをプロッタに固定します。	P.16
2. プロッタの設定	メディアの種類に応じて、プロッタを設定します。	P.18
3. ツールの取り付け	カッター刃はメディアの素材や厚みに応じて交換できます。	P.19
4. ツールの調整とテストカット	メディアの素材や厚みなどに応じて、刃の先端を出す長さや、カットする圧力などを調整します。セットしたメディアをテストカットすることで、最適な状態に調整できます。	P.19

ソフトウェアのインストール

付属の CD-ROM に収納されているソフトウェアをお使いになるパソコンにインストールします。

[対応する OS の種類] :Windows Vista/Windows XP/Windows 2000

1. インストーラの起動

1 付属 CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

ソフトウェアの [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されます。

[続行] をクリック

インストーラの［スタート］画面が表示されます。

インストールの起動ボタン

各種ソフトウェアのインストールを開始するには、画面に表示されたインストールの起動ボタンをクリックします。

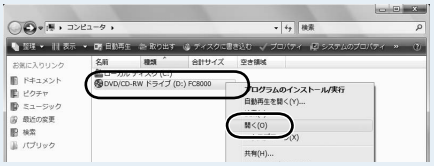
ソフトウェアの自動再生が設定されていない場合

Windows Vista の場合：

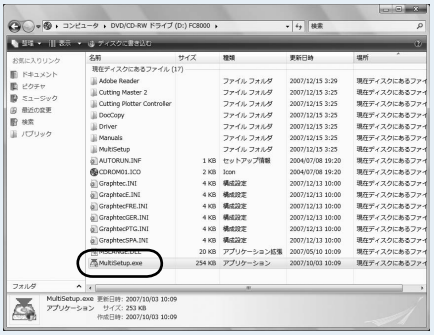
1.Windows の［自動再生］選択メニューから、[MultiSetup.exe 実行] を選びます。

[自動再生] 選択メニューが表示されない場合：

1. コンピュータから CD-ROM ドライブを選択し、右クリックで [開く] を選択します。



2. [MultiSetup.exe] を選択し、ダブルクリックします。



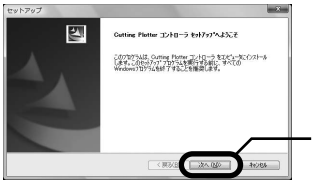
※ Windows XP/2000 の場合も同様です。

2. Cutting Plotter コントローラのインストール

1 インストーラの [スタート] 画面で、[FC8000 セットアップ] をクリックします。

[FC8000 セットアップ] では、「Cutting Plotter コントローラ」と「FC8000 Plotter Driver」がインストールされます。

2 表示された画面の指示に従って操作します。



[次へ] をクリック

※ FC8000 ドライバソフトのみのインストールの場合は［キャンセル］します。

対応するパソコン

Cutting Plotter コントローラを使用するには、Windows Vista/XP/2000 のパソコンを使い、USB/LAN（ネットワーク）/RS-232C インタフェースで接続します。

Cutting Plotter コントローラは、プロッタの操作パネルと同等の操作をパソコンから行うソフトウェアです。お使いの Windows やインタフェースが上記と異なる場合は、操作パネルを使って操作してください。

［次へ］をクリック

［次へ］をクリック

［完了］をクリック

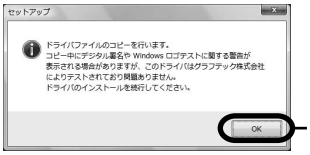
3. FC8000 Plotter Driver のインストール

Cutting Plotter コントローラのインストールが終了すると、
FC8000 Plotter Driver のインストール画面が表示されます。

1 画面の指示に従って操作します。

［OK］をクリック

［OK］をクリック



［OK］をクリック

⚠注　意

FC8000 Plotter Driver をインストールする前に、プロッタ（FC8000）とパソコンのインタフェースケーブルを**接続しない**でください。

USB ケーブルで接続する場合

2 インタフェースを選択します。

❶ プルダウンリストから「USB」を選択

❷［OK］をクリック

選択したインタフェースに応じて、手順が異なります。

ポート名

「ポート名」は、使用するインタフェースに応じて選択します。

インタフェース	ポート名	次の手順
USB ケーブルで接続する	USB	P.10
ネットワークケーブルで接続する	TCP/IP	P.12
RS-232C ケーブルで接続する	COM1	P.13
プロッタと接続せず、作図用のデータをファイルに出力する	FILE	–

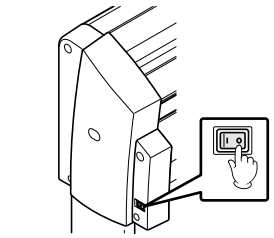
※ネットワーク（LAN）インタフェースは工場出荷時オプションです。後からの取り付けはできません。

3 ドライバソフトをインストールする。

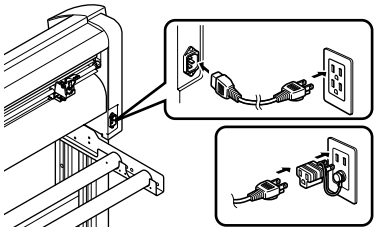
❷［インストール］をクリック

❶［チェックボックス］をクリック

4 プロッタの電源ケーブルを接続します。



❶ プロッタの電源がオフ（“○”側）になっていることを確認する



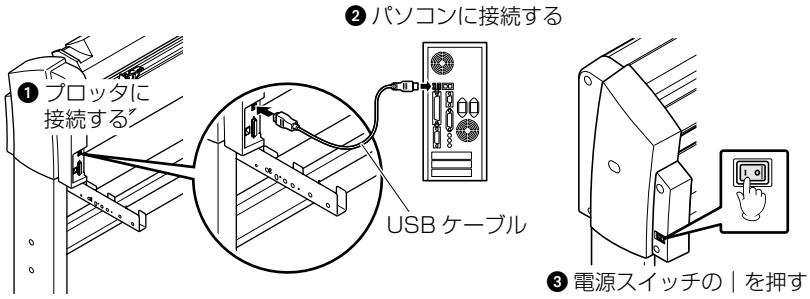
❷ 電源ケーブルを接続する

［OK］をクリック

⚠注　意

アース線は必ず取り付けてください。
アース線を取り付けないと、漏電のときに感電することがあります。

5 プロッタとパソコンを USB ケーブルで接続し、プロッタの電源を入れます。



6 デバイスドライバがインストールされます。

正常にインストールされた場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「プリンタ」内に「Graphtec FC8000」が表示されます。（Windows Vista の場合）

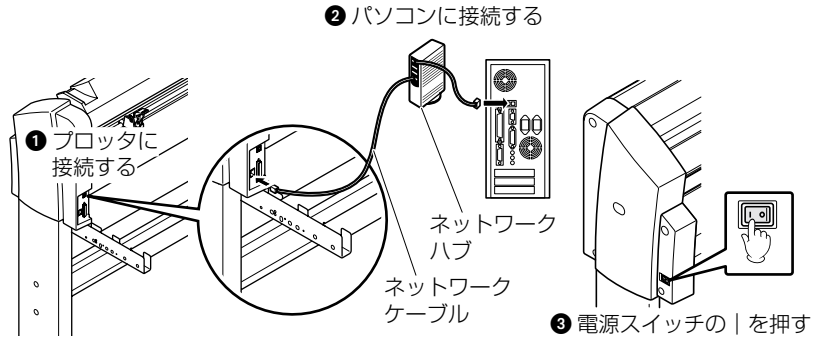
ネットワークケーブルで接続する場合（工場出荷時オプション）

2 インタフェースを選択します。

❶ プルダウンリストから「Standard TCP/IP Port: (ネットワーク)」を選択

❷［OK］をクリック

3 プロッタとパソコンをネットワークケーブルで接続し、プロッタの電源を入れます。



4 プロッタの IP アドレスを確認します。

5 プロッタの IP アドレスを入力します。

❶ IP アドレスを入力

❷［OK］をクリック

画面の IP アドレスは例です。

［OK］をクリック

IP アドレスがわからない場合

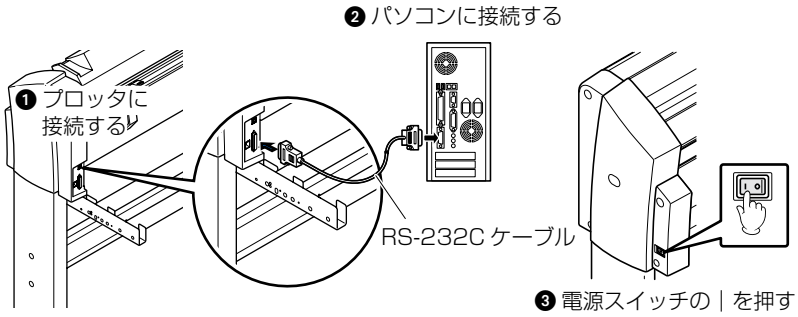
IP アドレスはネットワークの環境によって違います。ネットワーク管理者にご相談ください。本機の IP アドレスの調べ方については、FC8000 取扱説明書「インタフェースの設定」P.9-2 を参照してください。

正常にインストールされた場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「プリンタ」内に「Graphtec FC8000」が表示されます。（Windows Vista の場合）

RS-232C ケーブルで接続する場合

2 プロッタとパソコンを RS-232C ケーブルで接続し、プロッタの電源を入れます。



3 本機の RS-232C の設定を確認します。

4 インタフェースを選択します。

❶ プルダウンリストから「COM1: (シリアルポート)」を選択

❷［OK］をクリック

［OK］をクリック

パソコンのポート設定

RS-232C での接続ではパソコンと本機のポート設定を合わせる必要があります。パソコンのポート設定については、Windows のヘルプを参照してください。

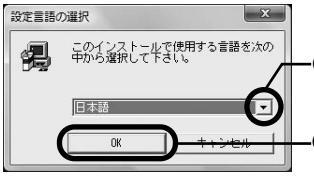
正常にインストールされた場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」→「プリンタ」内に「Graphtec FC8000」が表示されます。(Windows Vista の場合)

4. Cutting Master 2 のインストール

1 Illustrator もしくは CorelDRAW をお使いの場合、インストーラの「スタート」画面で［Cutting Master 2 セットアップ］をクリックします。

2 表示された画面の指示に従って操作します。



❶ プルダウンリストから「日本語」を選択

❷［OK］をクリック

Illustrator もしくは CorelDRAW を使用しない場合

インストールする必要はありません。

Macintosh の場合

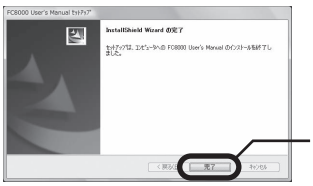
付属 CD-ROM 内の各言語フォルダに入っている説明書をお読みください。

5. 取扱説明書のインストール

1 インストーラの「スタート」画面で [取扱説明書セットアップ] をクリックします。

2 表示された画面の指示に従って操作します。

既にインストールされている場合
インストールする必要はありません。



［完了］をクリック

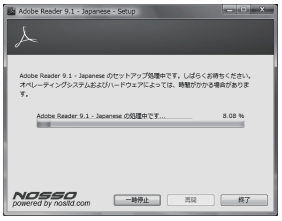
6. Adobe Reader のインストール

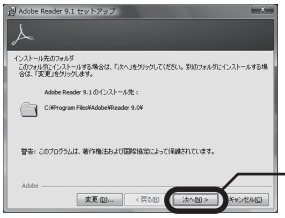
1 インストーラの「スタート」画面で［Adobe Reader］をクリックします。

2 表示された画面の指示に従って操作します。

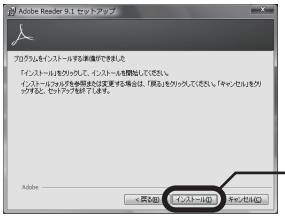
既にインストールされている場合

お使いのパソコンで Adobe Acrobat もしくは Reader を既にお使いの場合、インストールする必要はありません。

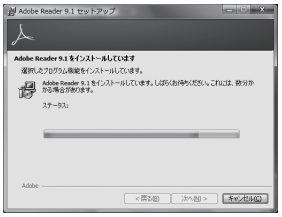


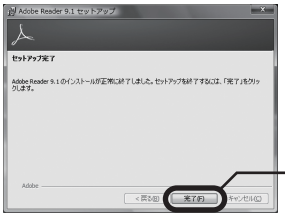


［次へ］をクリック



［インストール］をクリック





［完了］をクリック

3 インストーラの「スタート」画面で［終了］をクリックし、全てのインストールを終了します。

［終了］をクリック

プロッタ本体のセットアップ

1. メディア（用紙）のセット

FC8000 では、ロール紙とシート紙が使用できます。給紙方法には、リアローディング（後ろから給紙）とフロントローディング（手前から給紙）があります。プロッタの組立て方に応じて選択してください。

ロール紙を使用する場合

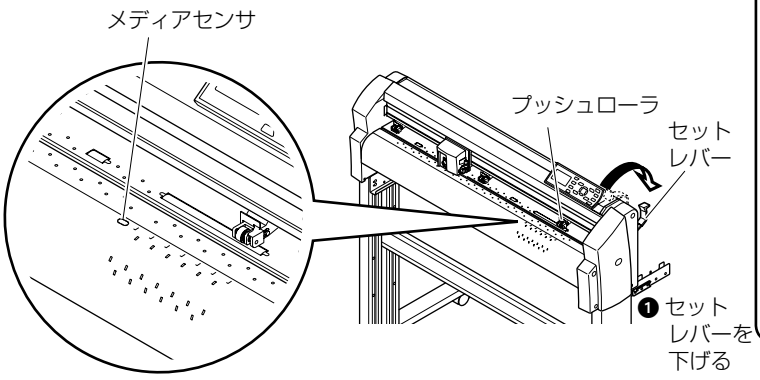
ここでは、リアローディングで使用する場合の操作方法を説明します。フロントローディングで使用する場合は、右コラムを参照してください。

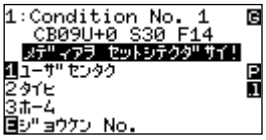
メディア

メディアの種類や幅、ローディング方法により、セット方法が異なります。
下表の条件により、次の手順のページを参照してください。

メディア種類	メディア幅	ローディング方法	次の手順
ロール紙	160 ～ 540mm	F/R	P.17
	540mm 以上	F/R	P.17
シート紙	100 ～ 160mm	F/R	P.18
	160mm 以上	F/R	P.18

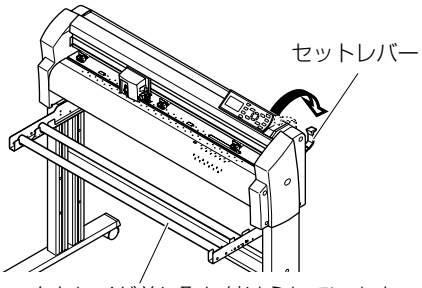
1 セットレバーを下げ、プッシュローラを上げます。





セットレバーを下げると、本体 LCD に「メディアヲ　セットシテクダサイ」と表示されます。

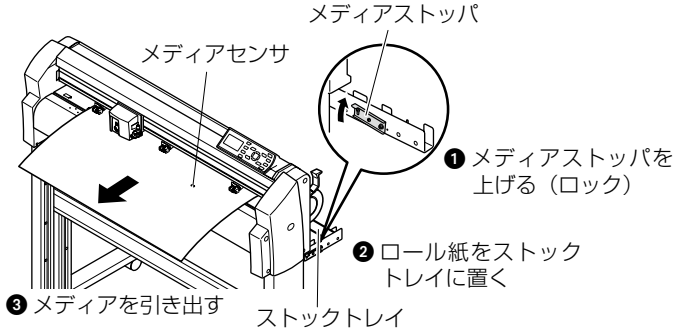
フロントローディングの場合



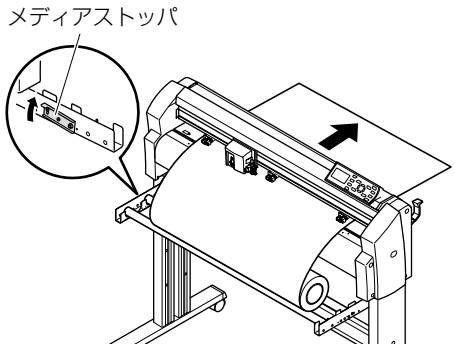
ストックトレイが前に取り付けられています。

2 メディアをプッシュローラの下に通します。

メディアストッパを上げ（❶）、ロール紙は引き出した部分が上になるように置き（❷）、メディアセンサの上を覆う程度（❸）に引き出してください。



フロントローディングの場合



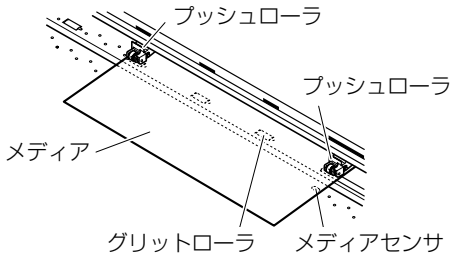
メディアストッパ

ロール紙をセットするときにストックローラの回転を止めるストッパです。ロール紙を真直ぐ引き出すときに使用します。

メディア幅 160 ～ 540mm の場合

3 2 個のプッシュローラの位置をセットします。

メディアセンサの上を通るようにメディアの両端を押さえ、プッシュローラがグリットローラの上にくるようにセットします（❶）。使用しないプッシュローラは待避位置に移動してください（❷）。



セット後、手順 4 へ

待避位置

待避位置については、FC8000 取扱説明書「プッシュローラの待避」P2-12 を参照してください。

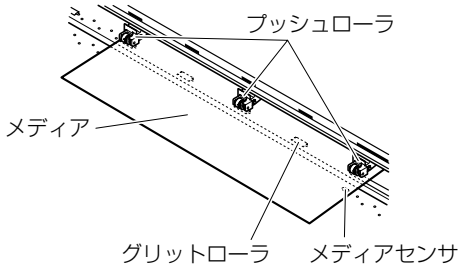
プッシュローラの位置

プッシュローラの位置の調整については、FC8000 取扱説明書「プッシュローラを調整する」P2-12 を参照してください。

メディア幅 540mm 以上の場合

3 3 個のプッシュローラの位置をセットします。

メディアセンサの上を通るようにメディアの両端と中央を押さえ、プッシュローラがグリットローラの上にくるようにセットします（❶）。使用しないプッシュローラは待避位置に移動してください（❷）。



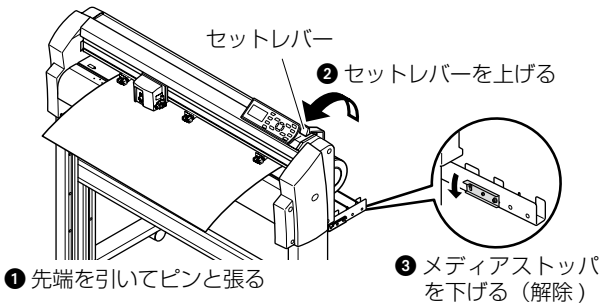
待避位置

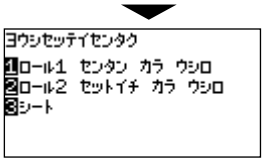
待避位置については、FC8000 取扱説明書「プッシュローラの待避」P2-12 を参照してください。

プッシュローラの位置

プッシュローラの位置の調整については、FC8000 取扱説明書「プッシュローラを調整する」P2-12 を参照してください。

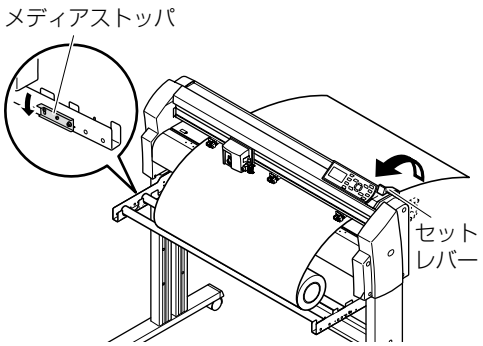
4 ロール紙のたるみをとり、プッシュローラで固定します。





メディア給紙方法選択画面が表示されます。

フロントローディングの場合



シート紙を使用する場合

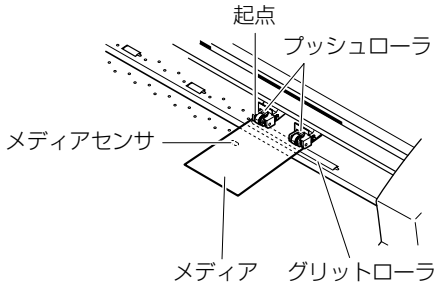
1 セットレバーを下げ、プッシュローラを上げます。（「ロール紙を使用する場合」を参照してください。）

2 メディアをプッシュローラの下に通します。（「ロール紙を使用する場合」を参照してください。）

メディア幅 100 ～ 160mm の場合

3 2 個プッシュローラの位置をセットします。

メディアセンサの上を通るようにメディアの両端を押さえ、プッシュローラが右端の長いグリットローラの上にくるようにし、グリットローラの左端を起点としてプッシュローラをセットする（❶）。使用しないプッシュローラは待避位置に移動してください（❷）。



❶ 長いグリットローラの上にメディアとプッシュローラをセットする

❷ 使わないプッシュローラを待避させる

4 ロール紙のたるみをとり、プッシュローラで固定します。（「ロール紙を使用する場合」を参照してください。）

待避位置

待避位置については、FC8000 取扱説明書「プッシュローラの待避」P.2-12 を参照してください。

プッシュローラの位置

プッシュローラの位置の調整については、FC8000 取扱説明書「プッシュローラを調整する」P.2-12 を参照してください。

メディア幅 161mm 以上の場合

「ロール紙を使用する場合」を参照してください。

2. メディアの種類をプロッタに設定する

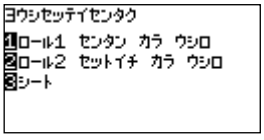
セットしたメディアに応じて、プロッタにメディアの種類を設定します。

1 セットしたメディアの種類を選択します。

操作パネルの［1］～［4］キーを押して選択します。

ロール紙	メディアの先端から作図する	［1］
	セットした位置から作図する	［2］
シート紙		［3］
同等のメディアを再セットした場合		［4］

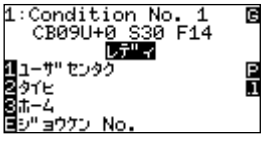
メディアをセットすると、次の画面が表示されます。



メディア給紙方法選択画面が表示されます。

2 プロッタがメディアのサイズを検出し、設定が完了するのを待ちます。

完了すると次の画面が表示されます。



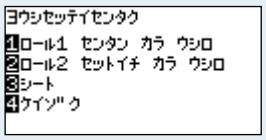
「レディ」と表示されます。
この画面を「レディ状態」といいます。

ローディング方法の変更

初期設定ではリアローディングに設定されています。フロントローディングで設置した場合は、ローディング方法を変更してください。ローディング方法の変更については、FC8000 取扱説明書「給紙方法を設定する」P.2-19 を参照してください。

「ケイゾク」表示

プロッタの状態によって 4 番目の選択肢「ケイゾク」が表示されることがあります。



「ケイゾク」は同等のメディアを再セットし、同じ設定のまま続けて作図を行うときに選択します。メディアをセットした後、セットレバーを上げ下げした場合に表示されます。

レディ状態

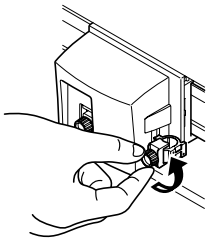
プロッタがパソコンからのデータを受信可能な状態になると、本体 LCD に「レディ」が表示されます。

また、本体の電源を入れた後、バージョン表示後の画面を「基本画面」といいます。

3. ツールの取り付け

本機にツール（カッターペン・筆記ペン）を取り付けます。ここではカッターペンを例に説明します。

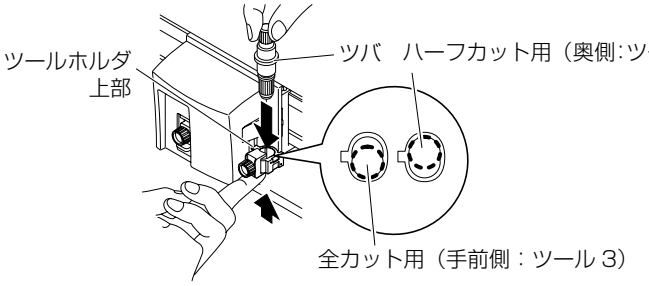
1 ツールホルダのネジを緩めます。



⚠注　意
電源投入時や動作中は危険ですので、ツール先には触れないようにしてください。

2 ツールホルダにツールを取り付けます。

ツールホルダを上に押し上げながらツールのツバの部分がツールホルダの上面に突き当るまで完全に押し込みます。



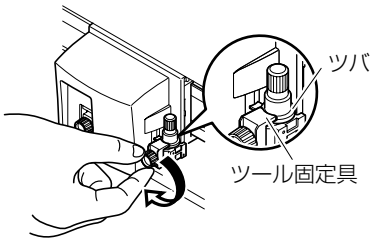
⚠注　意
ツールホルダを押し上げるときに、カッター刃で指をケガをしないよう十分にご注意ください。

ハーフカット、全カット
ツールホルダにツールを差し込む位置により、カット動作が変わります。手前側は全カットする時に、奥側はハーフカットする時に主に使います。

全カットとハーフカットについては、FC8000 取扱説明書「ツールを取り付ける」P2-4 を参照してください。

3 ツールを固定します。

ツールのツバの部分を覆うようにツール固定具をセットし、ネジを締めてください。



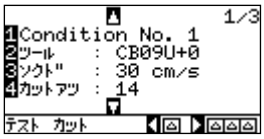
⚠注　意
固定する際にネジを締めすぎないでください。また、ネジを緩めて外れた場合は、再度取り付けてください。

パウンシングペン（オプション）は、必ずツール 1 に取り付けてください。

4. ツールの調整とテストカット

ツール・速度・カット圧・加速度を設定後、テストカットを行い、最適になるまで繰り返します。

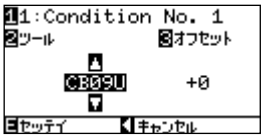
1 基本画面で [CONDITION] キーを押します。



コンディション画面（1/3）が表示されます。

⚠注　意
電源投入時や動作中は危険ですので、ツール先には触れないようにしてください。

2 ツール条件（ツール、速度、カット圧、加速度）設定をします。

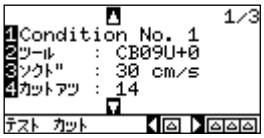


例）ツール設定の画面です。

［ENTER］を押します。

設定値で 1 個テストカットする場合

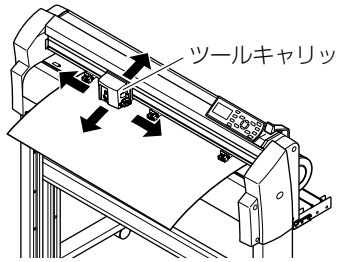
3 ツール条件を設定した状態で 1 個テストカットをします。



コンディション画面（1/3）が表示されます。

❶ POSITION（◀）キーを押します。

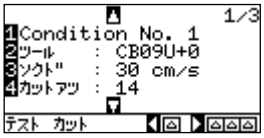
❷ POSITION（▲▼◀▶）キーを押し、テストカットを行う位置にツールキャリッジを移動させます。



[ENTER] キーを押します。

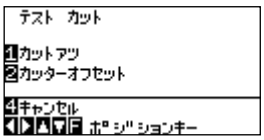
設定値と設定値± 1 で 3 個テストカットする場合

3 ツール条件を設定した状態で 3 個テストカットをします。



コンディション画面（1/3）が表示されます。

❶ POSITION（▶）キーを押します。



テストカットメニュー画面が表示されます。

❷ POSITION（▲▼◀▶）キーを押し、テストカットを行う位置にツールキャリッジを移動させます。（設定値 1 個テストカットする場合参照）

❸ [1] キー（カットアツ）を押します。
現在のカット圧を中心に、カット圧を 1 ずつ増減したものを加えた、3 個のテストカットパターンがカットされます。

ツール条件設定

各種の作図条件の詳しい設定方法については、FC8000 取扱説明書「ツール条件の選択」P.2-23 を参照してください。

❹ 終了後、[ENTER] キーを押します。
テストカットメニュー画面に戻ります。

❺ [2] キー（カッターオフセット）を押します。
現在のオフセット値を中心に、オフセット値を 1 ずつ増減したものを加えた、3 個のテストカットパターンがカットされます。

❻ [ENTER] キーを押します。

4 テストカットされたものが適正か確認します。

ハーフカットの目安
三角の部分を剥がして、台紙に薄くカットした跡が残っている位が丁度いいカット圧になります。台紙が完全に切れている場合は、カット圧が高すぎるか、刃を出しすぎています。台紙にカットした跡が所々付いていない場合は、カット圧が低すぎるか、刃出し量が少なすぎます。

全カットの目安
台紙が完全に切れているのが丁度いいカット圧になります。台紙が完全に切れていない場合は、カット圧が低すぎるか、刃出し量が少なすぎます。

筆記ペンの目安
作図にカスレが出ない程度にスピードを設定します。ペンの寿命を長くするため筆圧はできるだけ弱く設定します。

オフセットのチェック方法

オフセット量が正しく設定できているかどうかを、以下を参考にチェックしてください。

補正量が不足しています。オフセット値を上げてください。

適正なオフセット値です。

補正しすぎです。オフセット値を下げてください。

5 良好なカットができるまで設定とテストカットを繰り返します。

刃出し調整機能

最適な刃出し量を設定するには、何回かテストカットが必要ですが、この機能により、簡単に刃出し量を調節できます。

1 以下の手順でパネルを操作します。

基本画面で [CONDITION] キーを押します。

コンディション画面（1/3）が表示されます。

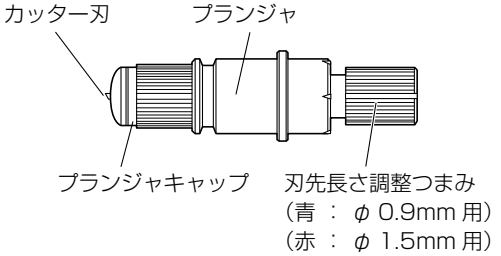
POSITION（▲）キーを押します。

[4] キー（ハダシ　チョウセイ）を押します。

⚠注　意

電源投入時や動作中は危険ですので、ツール先には触れないようにしてください。

2 カッタープランジャの刃先長さ調整つまみを回してカッター刃を完全に引っ込めます。



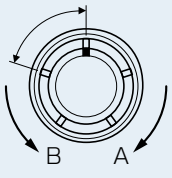
⚠注　意

カッター刃の取り扱いには、手などを切らないよう充分にご注意ください。

刃出し調整つまみ

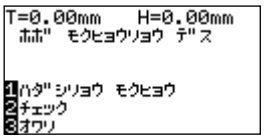
刃出しの長さを刃出し調整つまみを回して調整します。A の方向に回すと刃が出ます。B の方向に回すと刃が引っ込みます。一目盛り分回転させると約 0.1mm 刃が出入りします。一回転させると約 0.5mm 刃が出入りします。

一目盛で、カッター刃が
約 0.1mm 出入りします



3 以下の手順でパネルを操作します。

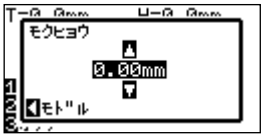
[ENTER] キーを押します。



刃出し調整設定画面が表示されます。

▼

[1] キー（ハダシリョウ　モクヒョウ）を押します。



刃出し目標画面が表示されます。

▼

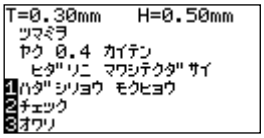
POSITION（▲▼）キーを押して、設定値を増減させます。

▼

POSITION（◀）キー（モドル）を押すと設定され刃出し調整設定画面に戻ります。

▼

[2]（チェック）キーを押します。



調整つまみを回す量と方向が表示されます。

⚠注　意

[1] キー（ハダシリョウモクヒョウ）を押すとツールキャリッジが動き出すので、カッター刃で指をケガしないよう十分にご注意ください。

⚠注　意

[2] キー（チェック）を押すとツールキャリッジが動き出すので、カッター刃で指をケガしないよう十分にご注意ください。

4 刃先調整つまみを回しカッター刃を調整します。

[2] キー（チェック）を押すと現在の刃出し量が表示されますので、メディアの厚さに合った値になるまで刃出し量を調整してください。

[3]（オワリ）キーを押します。

▼

[CONDITION] キーを押します。

4.「Cutting Master 2」を使って実際に作図する

デザインアプリケーションで作成したデータを使い、実際に作図する手順を説明します。プロッタ本体とパソコンのセットアップが完了してから試してください。

準備

「FC8000 Cutting Plotter」の組み立てやパソコンとの接続、デザインアプリケーション（「CorelDRAW」または「Adobe Illustrator」）や「Cutting Master 2」のインストールを済ませておきます。「セットアップの流れ」を参照してください。

「Cutting Master 2」は、以下のデザインソフトに対応しています。「Cutting Master 2」をインストールする前に、デザインソフトをインストールしておいてください。

(Windows)
Corel CorelDRAW 10/11/12/X3
Adobe Illustrator 8/9/10/CS/CS2/CS3

(Macintosh)
Adobe Illustrator 10/CS/CS2/CS3

1 デザインアプリケーションで作図する

対応するデザインアプリケーションで、デザインを作成します。デザイン作成の際は、右の点に注意してください。そのほかにもデザイン作成には気をつけなければならない点があります。詳しくは「Cutting Master 2」のヘルプファイルにある「デザインの作成のガイドライン」を参照してください。

デザイン作成上の注意

ビットマップ画像は使用できません。ベクターオブジェクトに変換する必要があります。

パターン塗り、ビットマップ塗り、レンズ効果、その他カスタムな塗りは使用できません。

2 カット・プロット画面を表示する

Adobe Illustrator の場合

❶「File」メニューから「Cutting Master 2」を選び、次に「カット・プロット」を選択します。

CorelDRAW の場合

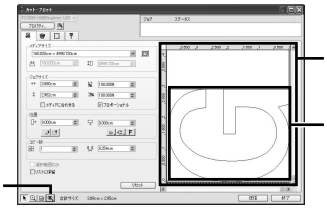
❶ Corel Application Launcher から「Cut/Plot」を選択します。Corel Application Launcher は標準ツールバー内のリストで、CorelDRAW 内から他のアプリケーションの起動を可能にします。

CorelDraw のアイコン

CorelDraw の各バージョン別に、次のアイコンが使われます。

CorelDRAW 10	
CorelDRAW 11	
CorelDRAW 12 & X3	

❷ カット・プロット画面が表示され、Illustrator で作成したジョブ (デザイン) が表示されます。



プレビュー画面でジョブをドラッグすれば、カットする位置を調整できます。

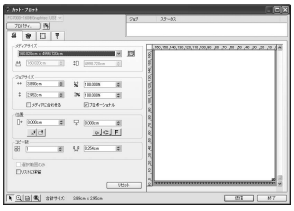
ジョブが小さくて見えにくい場合は、「すべてのオブジェクトを表示」ボタンをクリックします。デザイン内の全てのオブジェクトが、プレビューウインドウにおさまるように拡大・縮小表示されます。

3 カット・プロット画面でできること

カット・プロット画面では、プロッタにデータを出力するだけでなく、メディアサイズやジョブサイズを変更したり、レイヤー別に出力するデータを変更したり、同じデータを何枚もコピーして出力したりできます。
さらに細かく出力方法を設定したい場合は、以下の各画面で設定を行うことが可能です。

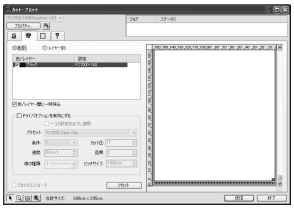
一般画面

メディアやジョブ（作成したデザイン）のサイズや位置を変更したり、同じジョブを複数出力したりできます。詳しくは「Cutting Master 2」のヘルプファイルにある「一般タブのプロパティの設定」を参照してください。



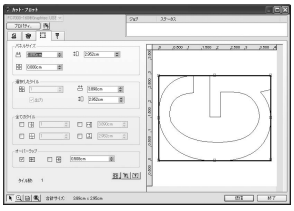
レイヤリング画面

レイヤーや色ごとに異なるパラメータを設定できます。たとえば、レイヤーごとに、カットする速度を変える、といった設定が可能です。詳しくは「Cutting Master 2」のヘルプファイルにある「レイヤータブのプロパティの設定」を参照してください。



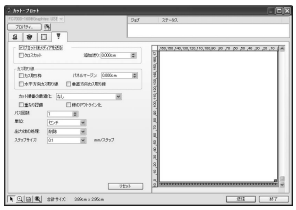
分割画面

ひとつのジョブを複数の小さなタイルに分割で出力したり、一部分を出力しないようにしたりできます。詳しくは「Cutting Master 2」のヘルプファイルにある「分割タブのプロパティの設定」を参照してください。



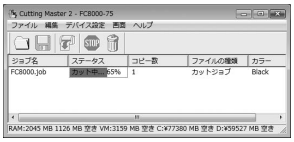
詳細画面

カットする順番の変更や、メディア上に印刷済みのトンボを読み込むことができます。詳しくは「Cutting Master 2」のヘルプファイルにある「詳細タブのプロパティの設定」を参照してください。



4 プロッタに出力し、作図する

カット・プロット画面の右下にある「送信」ボタンを押します。



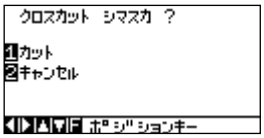
ジョブがジョブウインドウに追加され、順次プロッタに出力されます。

作図（カット）の途中で停止する

作業中にプロッタ本体の [STOP] キーを押すと、作図を一時停止します。

5 カットされたメディアを切り離します（クロスカット）

❶ プロッタがレディ状態になっていることを確認し、操作パネルの [CROSS CUT] キーを押します。



クロスカット画面を表示します。

❷ [1] キー（カット）を押します。
メディアがクロスカットされます。

[2] キー（キャンセル）を押すと、クロスカットせずに基本画面に戻ります。

6 カットしたメディアの不要な部分を取り除き、転写シートを貼ります

詳しい本体の使用方法については、FC8000「取扱説明書」をお読みください。

ご相談窓口

問題が解決しないときは、以下の窓口にご相談ください。

グラフテック株式会社 コールセンター

TEL: 0570-016262（ナビダイヤル）

受付時間　9：00 ～ 19：00（土・日・祝祭日と弊社指定の休日を除く）

＊ ただし、通話地域制限がある内線電話からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。また、携帯電話をご使用の場合、ナビダイヤルにつながらない事があります。その場合は、045-825-6382 におかけください。

FAX: 0120-710697

E-mail: graphcs@graphtec.co.jp

GRAPHTEC